



## 「2018年春季 JNN 社長会」で 武田社長が基調報告

3月15日(木)、ホテルニューオータニにおいて「2018年春季 JNN 社長会」が開催され、武田社長が基調報告を行いました。概要は以下の通りです。

### <災害被害お見舞い>

1月にMROで落雷による大規模な停波があり、悪天候が続く中での懸命な復旧作業や、その後の様々な対応で、大変なご苦勞があったと思う。現在も完全復旧に向けて、作業を進めているところと聞いているが、まずは心よりお見舞いを申し上げる。ご支援をいただいた系列各局も大変お疲れ様だった。

### <311特番・「チームJ」>

3月11日に東日本大震災から7年となった。今年は全28局で2時間特番『Nスタ特別版』を放送した。井上貴博、ホラン千秋両キャスターが被災地の今を中継で伝えるとともに、“生死を分けた72時間”として“命を守るヒント”に焦点を当て見応えのある特番だった。IBC、TBC、TUFをはじめ、ご協力いただいた皆様に感謝したい。視聴率も、各局の同時帯の特番の中で最も高い5.1%を記録した。

また、「チームJ」も、精力的に活動している。大雪や地震などの自然災害の場合は、各地から迅速に応援に入るシステムは非常に効果的。JNNの連携を一層強化していきたい。

### <Paravi>

こうした中、昨年7月に発足したPPJの有料動画配信サービス「Paravi(パラビ)」が、いよいよ来月から本格サービスを開始する。ぜひご協力をお願いしたい。

### <グループ中期経営計画2020>

新しい3ヵ年計画「グループ中期経営計画2020」を策定した。最大の柱は、業界トップの座を奪うために、今後3年間をその「足場固め」と位置づけたこと。2020年度に全ての時間帯において、NHKを含めた在京キー局の中での「2位以上」を目指す。最大の目標はもちろん「ナンバーワン」だが、まずは業界トップへの挑戦権を勝ち取りたい。

いまTBSグループは大きく動き出している。今年に入って、アニメ制作の「セブン・アークスグループ」を完全子会社化したほか、AR/VR技術を活用したデジタルテーマパーク事業を展開する「株式会社プレースホルダ」にも出資した。今後、放送だけでなく映像・文化、配信と、総合メディアグループとしての翼をさらに広げ、進化を続けていきたい。

以上